



JASDAQ

平成21年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社さかい
 代 表 者 名 代表取締役社長 緒方 智
 コード番号 7 6 2 2
 問 合 せ 先 管理本部長 平野 泰正
 電 話 番 号 0 5 2 (9 1 0) 1 7 2 9

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日付当社「平成21年3月期 決算短信（非連結）」において発表いたしました平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期 業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	4,913	387	416	405	18円37銭
今回修正予想 (B)	4,111	107	104	41	1円89銭
増減額 (B - A)	801	279	311	363	
増減率 (%)	16.3	72.2	74.8	89.7	
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期第2 四半期)	5,474	349	359	363	17円80銭

(2) 通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	9,503	651	712	669	30円35銭
今回修正予想 (B)	7,683	201	213	70	3円14銭
増減額 (B - A)	1,820	450	499	599	
増減率 (%)	19.2	69.1	70.1	89.5	
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	10,166	479	491	455	21円94銭

(3) 修正の理由

第1四半期会計期間時点におきまして、長引く経済不況による消費低迷が色濃くなり、業績の落ち込みが顕在化する事態となりました。当社としましては、第2四半期以降での巻き返しを図るべく、「平成22年3月期 第2四半期決算短信」でも発表の通り、低価格戦略にシフトするとともにプロモーション活動に注力してまいりましたが、客単価及び客数の回復は当初計画には及ばず、結果として売上高は当初の予想を大幅に下回る見通しとなりました。

売上高の減少要因の一つとしましては、企業グループ全体の業務効率化を目的としてFC事業の一部である「FC向け卸売業務」の兄弟会社への移管（業務委託）を平成20年9月1日付で実施しており、これによる売上高の減少も見込んでおります。但し、当該移管による利益への影響に関しましては、兄弟会社より販売協力金として相応の収益を得るため軽微であります。

販管費及び一般管理費に関しては、概ね予想通りに推移しましたが、売上高の減少により営業利益、経常利益とも予想を大きく下回ることとなりました。また、四半期純利益に関しましては、当面厳しい経営環境が予想されるため、課税所得の見積り額を見直したことによる繰延税金資産の取り崩しが発生し、予想を下回りました。

なお、通期につきましても、長引く経済不況を背景として依然低調に推移すると見込んでいるため、上記のとおり修正いたします。

2. 平成22年3月期 配当予想の修正

(1) 修正の内容

平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(基準日)	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想(平成21年5月8日発表)	-	-	-
今回修正予想	0円00銭	0円00銭	0円00銭
前期(平成21年3月期)実績	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(2) 配当予想修正の理由

当社は、経営体制の刷新以降、前期(29期)までの2事業年度において経常黒字を達成するなど、概ね順調な業績回復を達成してまいりました。また、配当に関しましては、平成17年4月期より無配が続いており、株主の皆様からも常々復配のご要望をいただいております。そのような状況のもと、当期は更なる飛躍と株主様への利益還元を目標として事業活動に邁進してまいりましたが、前記のとおり、当第2四半期業績予想及び通期業績予想は当初予想を大幅に下回る見通しとなりましたので、誠に遺憾ではございますが、平成22年3月期につきましては無配とさせていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、今後の企業価値の向上と収益体質の改善に向け、地道な経営努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

将来に関する記述等についての注意事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する事項は、現時点での入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は今後の様々な要因により、これら見通しとは大きく異なる可能性があります。

以上